



オタマジャクシがカエルになるのに何日かかるのなんにち

およそ1～2か月げつかかる

カエルは、およそ3000種類しゅるいもいます。1回かいに産むう卵たまごの数かずも、ふつうは千～数千個せん すうせん こ、多いものでは3万個まん こ、少ないものでは数個すう こといわれ、種類しゅるいによってさまざまです。

卵たまごからオタマジャクシがかえるのは、産卵後さんらんご5～10日じつぐらい、そこからオタマジャクシとして生活せいかつする期間きかんは、およそ1～2か月げつです。この期間きかんは、カエルの種類しゅるいによってちがってきますし、同じカエルでも、温度おなが低い日おんど ひく ひが続いたとき、えさが少ない所すくで育つときなどは、成長せいちょうがおそくなります。カエルの種類しゅるいによっては、えさが不足ふそくしているときは、オタマジャクシのままで冬ふゆをこし、次の年つぎ としにカエルになるものもいます。

緑色みどりいろのアマガエルは、卵たまごから2～3か月げつで子ガエルになります。ヒキガエルも、同じくおならひの日数にっすうです。トノサマガエルは、産卵後さんらんご5日じつぐらいで卵たまごからかえり、1～2か月げつで子ガエルになります。そして、3年ねんぐらいでおとなのカエルになり、室内しつないで飼かっていると、10年ねんぐらいも生きています。

親おやの体内たいないで子ガエルこになるものもいる

ダーウィンガエルという種類しゅるいは、オスが卵たまごを体内たいないの鳴めいのうというふくろに飲みこみ、この中なかで卵たまごはかえり、1センチメートルセンチぐらいの子ガエルになるまで育ちます。そして、オスの口くちから外そとへ、子ガエルの形かたちで出てきます。ですから、水中すいちゆうでオタマジャクシは見られないのです。

海外かいがいにいるアマガエルの仲間なかまには、卵たまごが、メスの背中せなかのふくろの中なかで育つものもいます。卵たまごからかえってオタマジャクシでふくろから外そとへ出る種類しゅるいもいれば、子ガエルこになってから外そとへ出てくるものもいます。(監修・今泉 忠明)

